

The power to amaze yourself.®

-明日の自分にきっと驚く

# 2022年8月期第2四半期 決算補足説明資料

2022年4月15日

東証プライム市場:7085

株式会社カーブスホールディングス

# 目次

1.	2022年8月期2Q実績	3
2.	2Qの事業状況と取り組み	15
3.	下期以降の見通しと戦略	28
Ар	36	

# ■ 2022年8月期2Q実績

## 連結損益計算書

(単位:百万円)	2022年8月期(当期) 上期(9-2月)実績	2021年8月期(前期) 上期(9-2月)実績	前同比	2022年8月期(当期) 上期(9-2月)予想	予想比
売上高	13,443	11,891	113.0%	13,050	+393
売上原価	7,537	6,928	108.8%		
(売上原価率)	56.1%	58.3%			
販管費	4,176	4,092	102.1%		
のれん・商標権償却費	569	533			
営業利益	1,729	871	198.4%	1,400	+329
(営業利益率)	12.9%	7.3%		10.7%	
経常利益	1,850	669	276.5%	1,380	+470
(経常利益率)	13.8%	5.6%		10.6%	
当期純利益	1,207	347	347.5%	899	+308
(当期純利益率)	9.0%	2.9%		6.9%	



### 連結損益計算書(地域別)

(単位:百万円)	2022年8月期( 上期(9-2月)実績		2021年8月期 上期(9-2月)実績	(前期) 構成比	前同比	2022年8月期( 2Q(12-2月)実績	( 当期 ) 構成比
売上高	13,443	100.0%	11,891	100.0%	113.0%	6,982	100.0%
国内	13,247	98.5%	11,775	99.0%	112.5%	6,858	98.2%
海外	195	1.5%	116	1.0%	168.6%	123	1.8%
営業利益	1,729		871		198.4%	1,235	
国内	2,622		1,759		149.0%	1,676	
海外	△230		△253		-	△104	
調整額	△662		△634		-	△335	

#### \*海外事業の売上・営業利益について

海外事業は、海外法人 2 社(Curves International, Inc., Curves Europe B.V.) によるグローバルフランチャイズ事業、欧州FC本部事業で構成されています。

海外事業売上、営業利益には、日本国内事業からのCurves International, Inc.へのロイヤルティ支払い、フィットネス機器購入などの売上、海外子会社2社からの日本法人への指導料などのコストは含まれておりません。

#### \*営業利益の調整額項目について

特定の地域に帰属しない費用項目で、のれん・商標権償却費などです。



### 売上高構成

スポット: FC新規出店や契約更新などによって得られる一時的な収入

- ・FC新規出店に伴う加盟金やフィットネス機器販売などの収入
- ・契約更新に伴うフィットネス機器販売などの収入

ベース:店舗数、会員数などに連動して得られる継続的な収入

ロイヤルティ等	FC店舗会費売上などに対するロイヤルティや 会員管理事務手数料などの収入
フランチャイズ関連	その他FC店舗から得られる収入
会員向け物販	会員向けの商品販売による収入、当社グループが会員へ 直販し販売手数料をFC店に支払
直営事業	直営店経営による収入
その他	その他

海外

国内

# 売上高内訳

/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	2022年8月期(当	当期)	2021年8月期(1	2021年8月期(前期)		2022年8月期(当期)	
(単位:百万円)	上期(9-2月)実績	構成比	上期(9-2月)実績	構成比	前年比	2Q(12-2月)実績	構成比
売上高	13,443	100.0%	11,891	100.0%	113.0%	6,982	100.0%
国内	13,247	98.5%	11,775	99.0%	112.5%	6,858	98.2%
スポット	234	1.7%	270	2.3%	86.9%	102	1.5%
ベース	13,012	96.8%	11,505	96.8%	113.1%	6,756	96.8%
ロイヤルティ等	2,980	22.2%	2,705	22.8%	110.2%	1,456	20.9%
FC関連	810	6.0%	843	7.1%	96.1%	365	5.2%
会員向け物販 <sup>*1</sup>	7,992	59.5%	6,909	58.1%	115.7%	4,308	61.7%
直営事業	1,182	8.8%	1,000	8.4%	118.3%	602	8.6%
その他	46	0.3%	46	0.4%	99.7%	23	0.3%
海外	195	1.5%	116	1.0%	168.6%	123	1.8%

<sup>\*1</sup>会員向物販売上には、FC加盟企業に販売した商品の売上高が含まれております。



### 連結損益計算書トピック(業績予想比)

		2022年8月期(当期)実績			業績予想比		
(単位:百万円)	1Q(9-11月)	2Q(12-2月)	上期(9-2月)	上期(9-2月)	比率	差異	
売上高	6,460	6,982	13,443	13,050	103.0%	+393	
売上原価	3,631	3,906	7,537				
(売上原価率)	56.2%	55.9%	56.1%				
販管費	2,336	1,839	4,176				
営業利益	493	1,235	1,729	1,400	123.5%	+329	
(営業利益率)	7.6%	17.7%	12.9%	10.7%			
経常利益	536	1,314	1,850	1,380	134.1%	+470	
(経常利益率)	8.3%	18.8%	13.8%	10.6%			
当期純利益	315	891	1,207	899	134.3%	+308	
(当期純利益率)	4.9%	12.8%	9.0%	6.9%			

#### 売上

業績予想比+393g万円(103.0%)

- ・会員数はほぼ計画通りに推移
- ·会員向け物販好調
  - →プロテイン定期契約者増加、 高機能商品への切替による客単価アップ

営業利益 業績予想比+329<sub>百万円</sub>(123.5%)

- ・売上が予想比プラス
- ・マーケティング費用等広告宣伝費は積極投下
- ・コストが一部下期へ後ろ倒し

経常利益 業績予想比+470百万円(134.1%)

キャッシュを伴わない為替差益(営業外収益)など 148百万円の営業外収益が発生



### 連結損益計算書トピック(1Q比)

当期1Q比較						_
		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	
	2Q	69.8億円	12.3億円	13.1億円	8.9億円	
	(12-2月)	(1Q比+5.2億円)	(1Q比+7.4億円)	(1Q比+7.7億円)	(1Q比+5.7億円)	
	1Q	64.6億円	4.9億円	5.3億円	3.1億円	
	(9-11月)					

### 売上 1Q比+5.2億円(108.1%)

#### ①ロイヤルティ等売上微減 電季節要因等により会員数減

- ・季節要因により1Q比入会数減少、会員数純減、オミクロン株による多少の影響あり
- ・退会率は引き続き、低水準に抑えられ2.3%(12-2月)
- ・2Q末会員数はほぼ期初計画通りに推移

#### ②会員向け物販売上増収 プロテイン販売が好調に推移

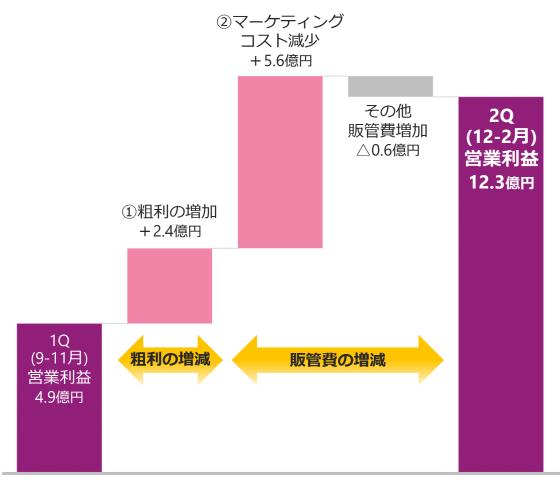
- ・2021年12月に会員様の「食生活の相談」強化月間を展開、プロテインの定期契約 者増加。高機能新商品への切り替え購入が好調に推移し客単価上昇
- ・四半期の会員向け物販売上高としては、過去最高



## 連結損益計算書トピック(1Q比)

### 営業利益 1Q比+7.4億円(250.5%)

2Q(12-2月)の1Q(9-11月)からの増減



- ①増収による粗利の増加
- ②マーケティングコスト 1Q比大幅減少
- \* 例年通り 2 Qは新規集客 キャンペーンを実施せず

### 連結損益計算書四半期推移

	20/08	21/08				22/08		
(単位:百万円)	2Q(12-2月) (コロナ前)	1Q(9-11月)	2Q(12-2月)	3Q(3-5月)	4Q(6-8月)	1Q(9-11月)	2Q(12-2月)	20/2Q対比
売上高	7,096	5,719	6,172	6,278	6,510	6,460	6,982	98.4%
国内	6,979	5,679	6,096	6,214	6,426	6,388	6,858	98.3%
スポット	186	141	128	112	146	132	102	54.8%
ベース	6,793	5,537	5,968	6,102	6,279	6,256	6,756	99.5%
ロイヤルティ等	1,611	1,346	1,359	1,420	1,440	1,524	1,456	90.4%
FC関連	453	485	358	406	350	444	365	80.7%
会員向け物販 <sup>*1</sup>	3,892	3,193	3,716	3,728	3,905	3,683	4,308	110.7%
直営事業	567	488	511	522	558	580	602	106.2%
その他	28	23	23	24	23	23	23	81.6%
広告分担金*2	239	-	-	-	-	-	-	0.0%
海外	117	40	75	64	84	71	123	105.7%
売上総利益	3,071	2,507	2,455	2,703	2,736	2,829	3,075	100.1%
営業利益	1,384	∆10	882	443	307	493	1,235	89.2%
国内	1,868	478	1,281	920	772	946	1,676	89.7%
海外	△142	△167	△86	△136	△139	∆125	△104	-
調整額*3	△341	△322	△312	△341	△325	∆327	∆335	-
経常利益	1,453	△103	772	751	295	536	1,314	90.4%
当期純利益	956	△143	490	477	304	315	891	93.2%
期末実質会員数(万人)	83.2	68.9	64.1	68.1	69.3	74.8	71.8	∆11.3
店舗数 (店)	2,014	2,000	1,988	1,974	1,958	1,953	1,951	△63
チェーン売上高 (百万円)	18,037	13,938	14,555	14,746	15,359	15,417	16,253	90.1%

<sup>\*1</sup>会員向物販売上には、FC加盟企業に販売した商品の売上高が含まれております。

Curves\*3 営業利益の調整額項目は、特定の地域に帰属しない費用項目で、のれん・商標権償却費などです。

<sup>\*2</sup> 広告分担金収入は2021年8月期より売上に計上しておりません。 使用したマーケティングコストのうち、FC加盟企業から拠出される広告分担金を超過した金額を販管費に計上しております。

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)	2022年 8月期2Q末	2021年 8月期末	前期末差
流動資産	13,131	14,961	△1,829
現預金*	7,309	9,760	△2,450
受取手形・売掛金	4,031	3,857	173
商品	1,590	1,092	498
固定資産	21,427	21,323	104
有形固定資産	493	505	△12
無形固定資産	20,264	20,128	136
のれん	1,356	1,346	10
商標権	17,589	17,431	158
ソフトウェア	875	815	60
投資その他の資産	669	689	△20
資産合計	34,559	36,284	△1,725
流動負債	8,723	8,929	△206
短期借入金(1年内長期借入金含む)	3,090	3,090	_
固定負債	16,682	18,191	△1,508
長期借入金	12,785	14,330	△1,545
負債合計	25,405	27,121	△1,715
有利子負債	15,875	17,420	△1,545
純資産合計	9,153	9,163	△9
株主資本	8,156	8,665	△509
負債・純資産合計	34,559	36,284	△1,725

Curves \* J-ESOP及びBBT導入に伴う信託預金2.6億円を含む

### 連結キャッシュ・フロー計算書

W//I = T = T	2022年8月期(当期)	2021年8月期(前期)	前同差
(単位:百万円)	上期(9-2月)実績	上期(9-2月)実績	H11-1/2E
営業活動によるCF	931	1,628	△697
税金等調整前当期純利益	1,849	669	1,180
のれん・商標権・減価償却費	946	818	128
売上債権の増減額	△153	∆313	160
たな卸資産の増減額	△498	226	△725
仕入債務の増減額	339	92	247
未払金の増減額	△439	∆334	△104
法人税等の支払額又は還付額	△793	124	△917
その他 *1	∆318	347	△665
投資活動によるCF	△420	∆251	△168
有形固定資産の取得による支出	△183	△46	△137
無形固定資産の取得による支出	△231	△189	△42
その他	△5	△16	10
財務活動によるCF	∆3,261	△1,389	△1,872
借入金の返済による支出	△1,545	△920	△625
自己株式の取得による支出 *2	△1,247	_	△1,247
配当金の支払額	△469	△469	_
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	△6	41
現金及び現金同等物の増減額	△2,715	△18	△2,696
現金及び現金同等物の期首残高	9,760	9,533	226
現金及び現金同等物の期末残高	7,045	9,515	△2,470

Curves \*1: J-ESOP及びBBT導入に伴う信託預金2.6億円の拠出を含む \*2: J-ESOP及びBBT導入に伴う自己株式の取得

### キャッシュの増減について

Curves

### 2Q(12-2月)現預金減少額 10.2億円 2Q末残高70.4億円



2Qの事業状況と取り組み

### 2022年8月期の戦略

#### 2022年末

### 『事業回復』と 『新しい経営環境下でのビジネスモデル確立』

### 2022年8月期 重点戦略

- ●事業基盤を守り、 育てる
- ・顧客満足度の一層の向上
- ・FC加盟企業の収益力回復

#### 2会員数の回復

マーケティングの強化など

#### **③**新たなビジネス モデル確立

・リアルとオンラインを 融合したビジネスモデル



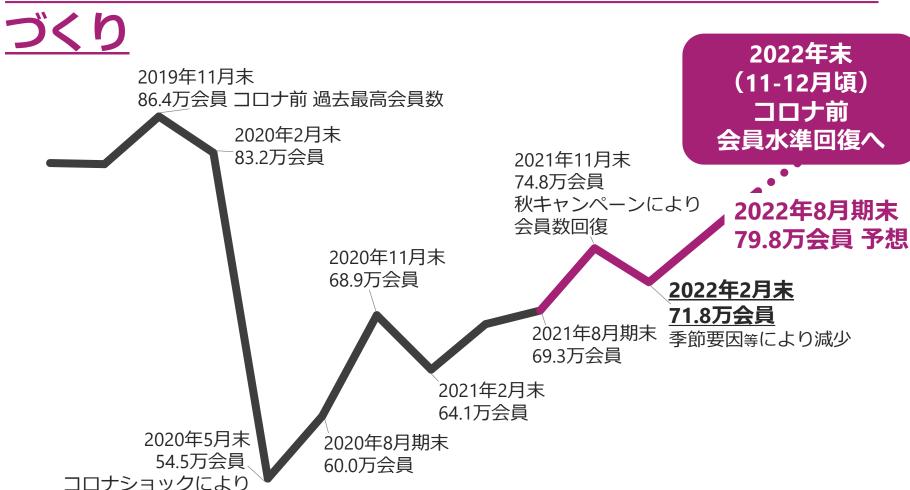
#### 新業態のビジネスモデル構築

・メンズ・カーブスなど新業態の多店舗化に向けたビジネスモデル構築

#### Curves

### 会員数回復のロードマップ

### 22年末までに事業回復と新しいビジネスモデル



2020/08期

大幅な会員数減少

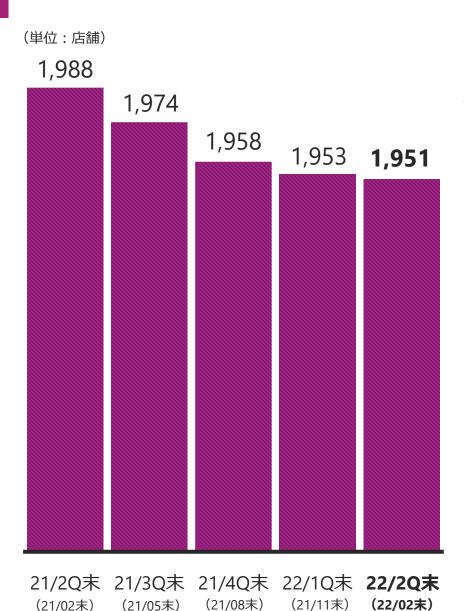
2021/08期(前期)

2022/08期(当期)

2023/08期



### 店舗数



国内 1,951

店舗

2Q(12-2月)

出店数

0店舗

閉店数

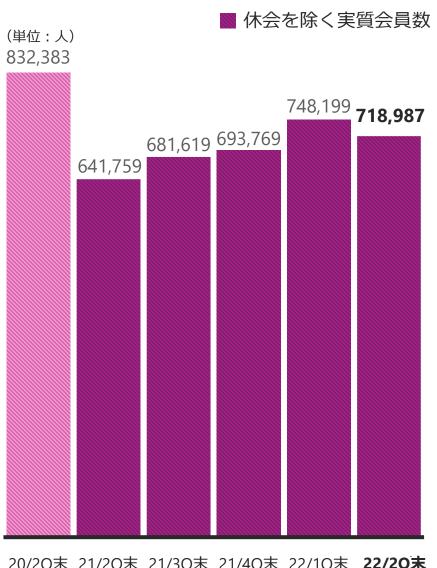
2店舗

純増数

△2店舗

- ・引き続き不採算店舗の 閉店統合を実施
- ·2Q閉店店舗の会員 約7割は近隣店舗へ移籍

### 会員数



20/2Q末 21/2Q末 21/3Q末 21/4Q末 22/1Q末 **22/2Q末** (20/02末) (21/02末) (21/05末) (21/08末) (21/11末) **(22/02末)** (コロナ前)

# **休会を除く 71 8 万人**

 オンライン体操教室
 1.9

 内、おうちでカーブス会員数
 5

21/08期末対比 +

+ 2.5 万人

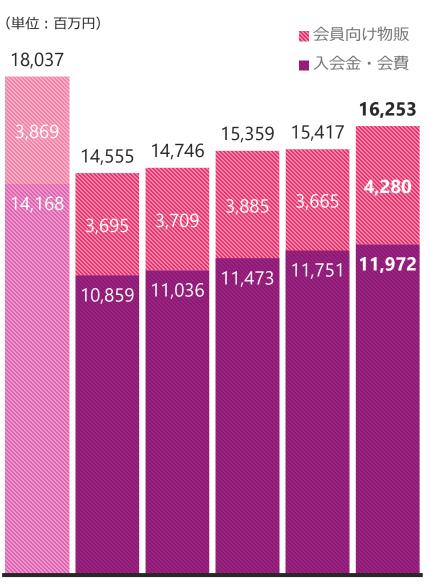
22/1Q末対比

△ 2.9 万人

- ・1Q新規入会キャンペーン好調 →前期末対比純増
- ・2Q季節要因の影響 →1Q末対比純減
- ·退会率は低水準を維持 (12-2月退会率 2.3%)

Curves

### チェーン売上高



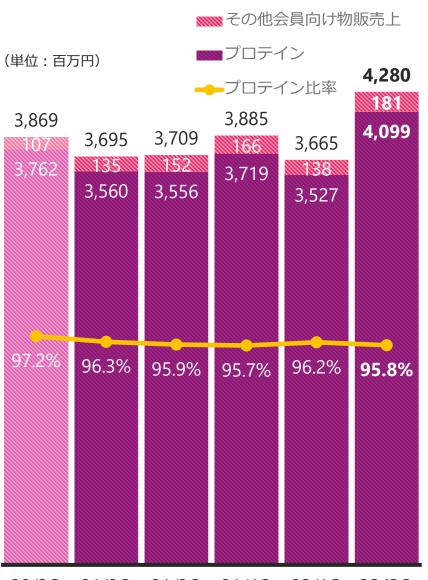
# 22/08 2Q **1 62.5** 億円

22/08 1Q対比 105.4%

コロナ前 20/08 2Q対比 **90.1**%

20/2Q 21/2Q 21/3Q 21/4Q 22/1Q **22/2Q** コロナ前)

### 会員向け物販売上高



22/08 2Q **宝績**  42.8 億円

22/08 1Q対比 116.8%

コロナ前 20/08 2Q対比

110.6%

(プロテイン比率

**95.8**%)

Q単位(3ヵ月間)の会員向け物販売上高

過去最高

20/2Q 21/2Q 21/3Q 21/4Q 22/1Q **22/2Q** 

Curves

フィットネスクラブ業種

## JCSI日本版顧客満足度指数調查 7年連続 第1位



### 5部門で最高評価

#### 顧客満足

総合的な満足度

#### 顧客期待

期待値の高さ

#### ロイヤルティ

これからも続けたい

#### 推奨意向

友人にすすめたい

#### 知覚品質

サービスの質の高さ



コロナショックが長期化する中においても、 継続的にサービス品質向上・会員満足度向上 に注力

同調査において、7年以上連続第1位の評価は フィットネスクラブ業種では初

### プロテイン販売の強化(2021年12月)



初の機能性表示食品 プロテイン

+

生きて腸まで届く乳酸菌

スーパープロテイン・プレミアム+ ラインナップ拡充

→ プロテインご愛飲者のうち 4割超の方がプレミアム+を ご利用中(2022年2月末時点)

#### プレミアム+ 既存ラインナップ







定期購入価格:約5,900円(税別)/月 \*既存プロテイン:約4,900円(税別)/月

地域密着コミュニティ缶詰1個から始められる社会貢献

### 第15回カーブス フードドライブ実施

#### 2022年1月15日~2月15日の1カ月間実施

参加者:約13万5千人

集まった食料品:約 196トン

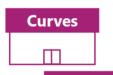
お届けした施設: 約 793 施設・団体



寄贈の様子

#### 【カーブスフードドライブとは】

家庭にある常温保存可能な 食料品をお持ちいただく



**Curves** 

各地域の施設・団体にカーブスの手でお届け



2007年スタート

今年で15回目

全国約2,000の店舗

**Curves** 



各地域の児童養護施設や 母子生活支援施設など



### 大阪スマートシニアライフ実証事業 推進協議会参画

#### 大阪スマートシニアライフ事業とは

- ・大阪府内のシニア層及びその家族を対象として 「高齢者にやさしいまちづくり」にフォーカスし、ICTをベースとした シニアサポートサービスを提供
- ・運営主体として公民一体の構築・運用をするとともに、2025年度に利用者100万人を目指す

#### カーブスの参画内容

- ・オンラインでのサービスの提供
  - ①体力チェック
  - ②健康講座
  - ③家でできる運動のご案内
  - ④オンライン運動サービス 等
- ・オフラインでの健康イベント実施による啓発活動



#### 株式給付信託(J-ESOP&びBBT)制度導入に伴う当社株式取得

#### 拠出額 15億円 ⇒ 自己株式 12.4億円 現金&預金 2.6億円(信託預金)

連結貸借対照表 株主資本内訳 (単位:百万円)	2022年 8月期2Q末	2021年 8月期末	前期末差
株主資本	8,156	8,665	△509
資本金	848	848	_
資本剰余金	828	828	_
利益剰余金	7,726	6,988	738
自己株式	△1,247	△0	<b>△1,247</b>

#### 導入目的

#### 従業員向け株式給付制度(J-ESOP)

当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、 株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため

#### 役員向け株式給付制度(BBT:Board Benefit Trust)

当社取締役、執行役員並びに当社子会社の取締役、執行役員(以下、対象役員)の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、対象役員が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めるため



### 海外事業の状況

#### 重点地域の状況

欧州(スペイン・イタリア・英国を中心に8ヵ国)

2021年12月末現在**152**店舗が営業中

- \*当社グループがFC本部を経営する直轄エリアのみ。
- \*海外は決算期のずれにより2ヵ月遅れでの連結取込み

#### ウクライナ・ロシアの状況

独立資本の在ウクライナ法人のマスターライセンシーが直営およびFC店で 事業経営

ウクライナ:約**100**店舗 休業中

ロシア : 約 **30**店舗 全店撤退

当期連結業績に与える影響は非常に軽微(0.01%未満)

コストへの影響は注視中。現状大きな影響はなし。



# 下期以降の見通しと戦略

### 2022年8月期の戦略

#### 2022年末

### 『事業回復』と 『新しい経営環境下でのビジネスモデル確立』

### 2022年8月期 重点戦略

- ●事業基盤を守り、 育てる
- ・顧客満足度の一層の向上
- ・FC加盟企業の収益力回復

#### 2会員数の回復

マーケティングの強化など

#### **③**新たなビジネス モデル確立

リアルとオンラインを 融合したビジネスモデル



#### 新業態のビジネスモデル構築

・メンズ・カーブスなど新業態の多店舗化に向けたビジネスモデル構築

#### Curves

### 業績予想と下期の見通し

	22/08上期	22/08通期	21/08通期	対前期
	実績	予想	実績	増減
売上高	134.4億円	265.5億円	246.8億円	+18.6億円
営業利益	17.2億円	25.0億円	16.2億円	+8.7億円
経常利益	18.5億円	24.5億円	17.1億円	+7.3億円
当期純利益	12.0億円	15.9億円	11.2億円	+4.6億円
期末会員数	71.8万人	79.8万人	69.3万人	+10.4万人
期末店舗数	1,951店舗	1,933店舗	1,958店舗	△25店舗

### 通期予想は据え置き

### 2022年末までの事業回復と新しい経営環境下での ビジネスモデル確立のために戦略投資を積極的に実施

- ・マーケティング強化&顧客満足度の一層の向上→会員数の早期回復を最優先
- ・メンズ・カーブス等新業態の多店舗化に向けたビジネスモデル構築
- ・通期出店数は環境面から減少見込み

Curves ただし閉店数も減少見込みのため、期末店舗数予測は据え置き

### キャンペーンによる新規入会強化 31







#### 3Q 新規入会キャンペーン実施

春の初心者大歓迎キャンペーン 3回無料体験チケットプレゼント

### 全国TVCM投下、情報番組露出& メディアミックスマーケティング

- ・3、4月に10日間ほど集中してTVCMを集中投下
- ・2~4月中旬にかけて情報番組に多数露出 (約80番組にてカーブス紹介)
- ・TV、WEB、地域販促等のメディアミックス マーケティング
  - →強みであるクチコミ紹介の後押しに

### 4月放映 30秒TVCMのイメージ

## メンズ・カーブス



①2Q末店舗数 : 9店舗

②下期出店見込 : 2店舗

③期末店舗数見込: 11店舗

2022年3月

- ④東北大学キャンパス内に戦略出店 女性カーブスとともに東北大加齢医学研究所 と共同研究
- ⑤既存店退会率は順調に低減、 集客ノウハウを磨きあげる



### 健康二次被害防止の継続的啓発

地域密着の健康インフラとして 健康二次被害の問題を有識者と ともに広め、課題解決に向けた 取り組みを継続実施

#### 健康二次被害防止コンソーシアム

啓発活動をしている組織・個人(2022年3月現在)

自治体 107

企業団体 226社

個人 (有識者など) 306名

健康二次被害防止コンソーシアム公式サイト https://kenko-nijihigai.com/

健康二次被害防止コンソーシアムとは:

感染症対策とともに、幅広く健康に目を向けて健康的な生活を お手伝いするために情報発信など様々な活動を行う組織。

医師·学者などの有識者、市町村、民間企業の有志により構成。 当社も発起人の一社として参画。 啓発リーフレット

健康二次被害防止コンソーシアム標語

コロナフレイル予防のたちつてと

■ コロナウイルス感染症予防のための外出自粛などにより、 コロナフレイル(足器の表えや体力を力の低下)のリスクが高まっています。

#### **┌ | フレイルチェック あなたは大丈夫?** |

- □ 散歩や買物などで外出することが減った
- □ 歩くスピードが以前より遅くなった
- □ 他の人との交流が減った(例えば週1回未満)
- □ 買物に行けないなどで、バランスの良い食事ができていない
- □ 他の人に同じことを何度も尋ねるようになり、物忘れが気になるようになった
- □ 以前と比べると、ふくらはぎが細くなった
- □ 家族や友人との接触も減ったため会話が減り、滑舌が悪くなってきた
- 最近、楽しいと感じることがほとんどない

チェックがついた方は要注意!

予防改善のため「た・ち・つ・て・と」を意識しましょう。

#### ーコロナフレイル予防の「た・ち・つ・て・と」 -

- たたんぱく質をたっぷりとろう
- ち ちょっとそこまで歩いてみよう
- っ つながりと会話を大切に
- て でかけよう週3回
- とトレーニングで筋力アップ



### 累計2,190万部配布

内、72万部はコロナワクチン接種会場等において74の自治体で配布

# レシピ本第2弾 発売決定

### 食の相談・提案の強化

運動+食事もカーブス

のさらなる発信

やせる! 血糖値の改善! 高血圧の予防に!

2022年4月28日発売予定

カーブスの 健康たんぱく質ごはん

監修

立命館大学スポーツ健康科学部教授

藤田 聡 先生

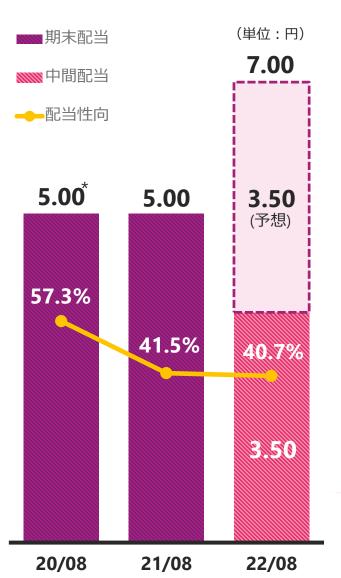
管理栄養士 ㈱Smile meal代表

レシピ監修 渥美まゆ美先生



※デザイン・内容は変更になる可能性がございます

### 株主還元方針



22/08 年間配当予想 **7.00**円

配当については、将来の事業展開と 財務体質の健全化のために必要な 内部留保を確保しつつ、 連結配当性向50%を目標として 実施していくことを基本方針として おります。

#### 上場来初の中間配当を実施

\* 普通配当: 3.00円 記念配当: 2.00円

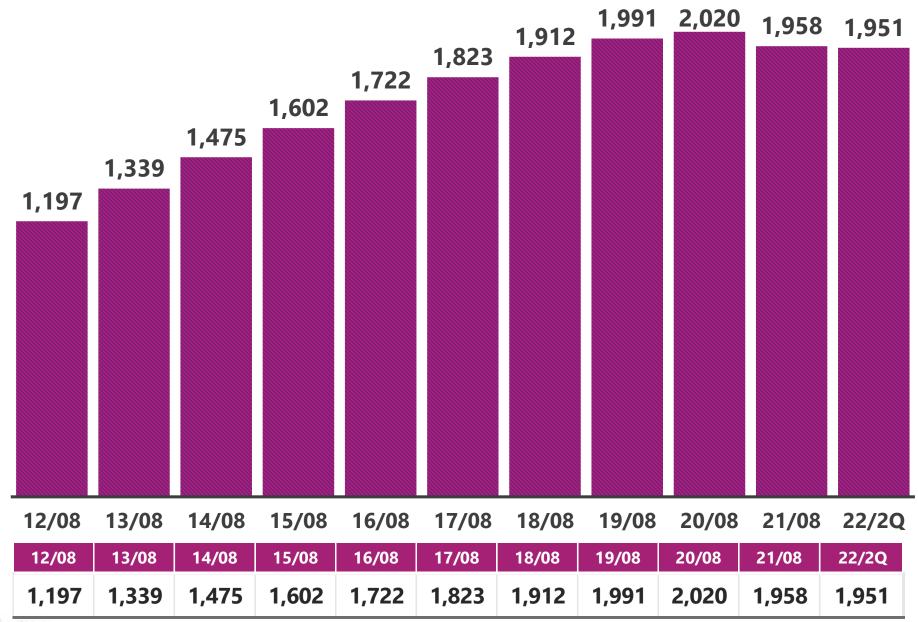
Curves

# Appendix

## ■カーブス事業の推移

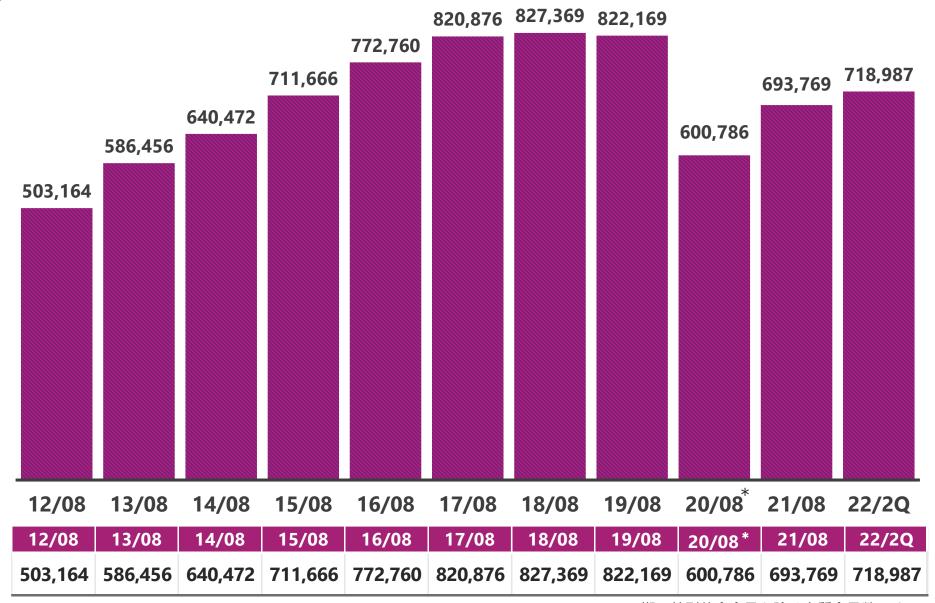
### 店舗数の推移

(単位:店舗)



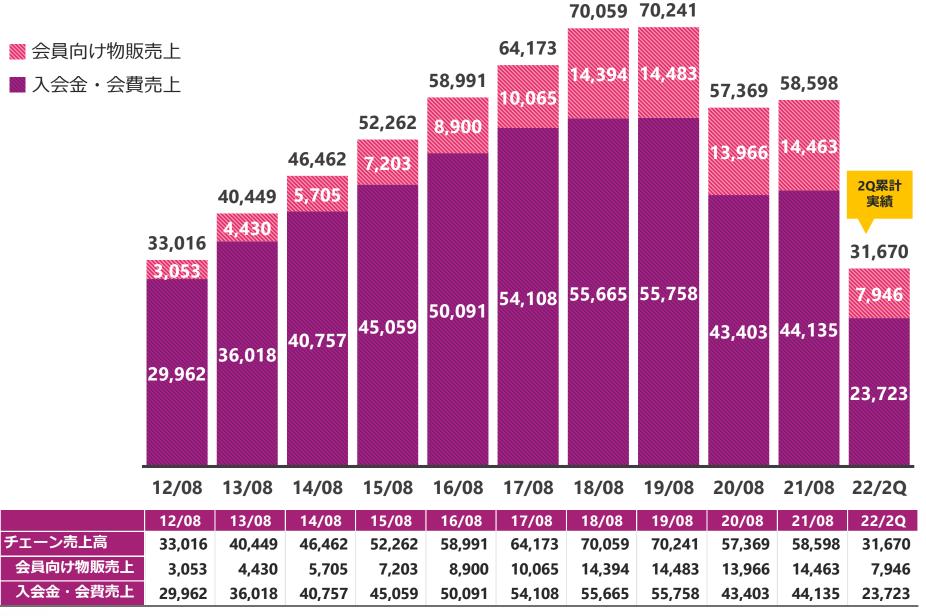
## 会員数の推移

(単位:人)



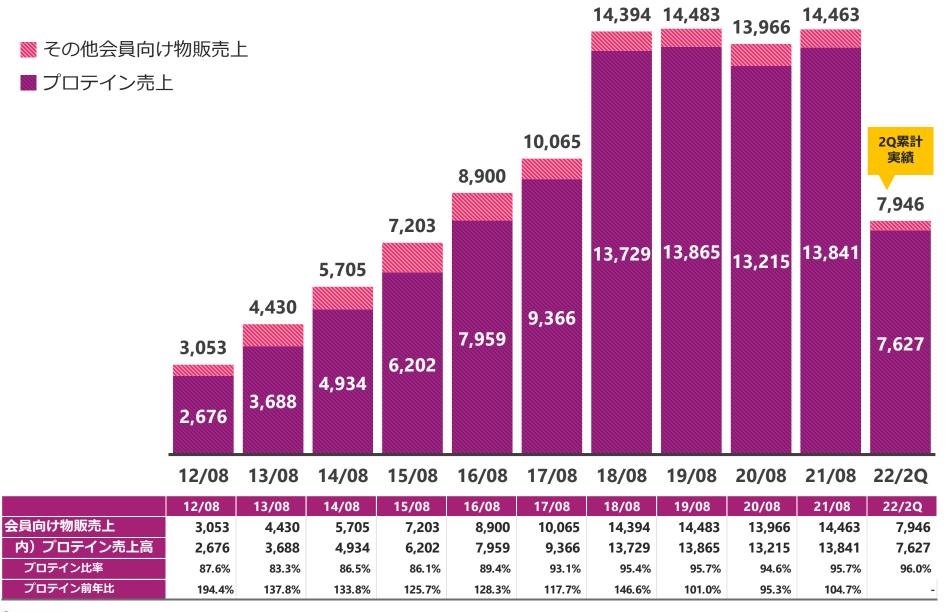
### チェーン売上高推移

(単位:百万円)



### 会員向け物販売上高推移

(単位:百万円)



## ■カーブスグループの概要

## 私達の使命

私達は、正しい運動習慣を広めることを通じて、

お客様と私達自身の豊かな人生と、社会の問題の解決を実現します。



### 私達が目指すもの

病気と介護の不安と孤独のない 生きるエネルギーがあふれる社会をつく





### コーポレートガバナンスの取り組み

・経営陣のスキルマトリックスを公開

当社HP「経営陣のご紹介」 <a href="https://www.curvesholdings.co.jp/ir/policy/management.html">https://www.curvesholdings.co.jp/ir/policy/management.html</a>

- ・取締役会実効性の評価を実施
- ・多様性の確保の状況

【従業員の男女比率】

【中途採用者の登用】

	総数	男性	女性
従業員	532	97 (18%)	435 (82%)
内、管理職	49	20 (41%)	29 (59%)

従業員全体の68%、全管理職の80%が中途採用者

※ 2021年8月期末の国内グループ3社(株式会社カーブスホールディングス、株式会社カーブスジャパン、株式会社ハイ・スタンダード)の状況

詳細は当社HP「コーポレートガバナンス」 https://www.curvesholdings.co.jp/ir/policy/governance.html



## 当社グループの強み

### 顧客への本質的な提供価値

### 『健康生活の習慣化』

- ・店舗での運動だけが本質的価値ではない
- ・運動経験がなかった人に運動を始めてもらい、続けてもらう『習慣化』こそが私達の提供価値
- ・『習慣化』のための場づくり、コミュニケーション、コミュニティなどが当社グループの本当の強み

この原点に戻り、ビジネスモデルの 在り方を改革中

## 当社グループの強み

### (見えざる) 資産

# 5つのエンゲージメント(満足度を超えた絆の強さ)

- ①お客様とのエンゲージメント
- ②加盟店とのエンゲージメント
- ③働く人達とのエンゲージメント
- 4社会・地域社会とのエンゲージメント
- 5株主とのエンゲージメント

## 当社グループの強み

経営技術

FC加盟企業とともに中高年向け 健康体操マーケットを創り出した

【実験思考、集合知、科学する経営】

<u>新たなビジネスモデル、サービスの</u> 開発のスピードアップ

## カーブスグループ

株式会社カーブスホールディングス (グループ持株会社)

#### 株式会社カーブスジャパン

日本フランチャイズ本部事業

株式会社ハイ・スタンダード

グループ直営店事業

**Curves International, Inc.** 

グローバルフランチャイザー事業

**Curves Europe B.V.** 

欧州フランチャイズ本部事業

### 会社概要

#### 事業概要

- 「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」を展開
- 国内店舗数1,951店舗(直営75店舗、FC1,876店舗) (2022年02月末時点)

### 基礎データ

■ 所在地:東京都港区芝浦3-9-1芝浦ルネサイトタワー11F

■ 設立<sup>(1)</sup>: 2005年2月 ■ 売上高<sup>(2)</sup>: 246億円 ■ 資本金<sup>(2)</sup>: 8億円

20. — 1 1.0

注: 1.カーブスジャパンの設立日。カーブスホールディングスは2008年10月設立 2.2021年8月期

### 沿革

2022年04月

2005年02月	ベンチャー・リンクによりカーブスジャパン設立 (世界総本部とマスターライセンス契約)
2006年03月	フランチャイズによる全国展開スタート
2006年06月	100店舗を突破
2008年10月	コシダカホールディングスの連結子会社となる
2011年06月	1,000店舗を突破
2015年06月	神奈川県認証施設「未病センター」第一号である 「未病センターカーブス小田原」を開設
2018年03月	Curves International, Inc.(世界総本部)を買収
2018年11月	メンズ・カーブス(茅野店)を開設
2019年07月	CFW International Management B.V.(現・Curves Europe B.V. 欧州FC本部)を買収
2019年10月	2,000店舗を突破
2020年03月	株式分配型スピンオフにより東京証券取引所市場 第1部に株式を上場

東京証券取引所「プライム市場」へ移行



### お問い合わせ

#### ▶ IRについてのお問い合わせ

### カーブスホールディングス

**TEL** : 03-6453-8752

e-Mail : curves-ir@curves.co.jp

**URL**: https://www.curvesholdings.co.jp/

**証券コード**:7085

本資料は、2022年8月期第2四半期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2022年4月8日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

